

## 9 / 1 2 アジナラ島一日目

アルゲーロから車で1時間ポルトトレスという港町へ。これまた一時間船に乗ってアジナラ島に到着！船の中で今回共にワークショップに参加する人達にお会いしました。 Sassari大学の先生や、もともとパオラ先生のもとで学んでいて今回のワークショップ参加に選ばれた人達もいました。

ちょうど島でフェスティバルがあったようで、マラソン大会や音楽のパレードなど観光客が結構いました。

この島、ちょっと異様な光景が見られます。というのも、今から約20年前この島は刑務所として、テロリストやマフィアが収容されていたんです。当時、世界で一番脱獄率の低い刑務所だったとか・・・島に送られたら逃げるもんも逃げられないですよ。島流しされた囚人たちは何を思ったのでしょうか。いたるところに廃墟と化した刑務所が残されていてなんとも言えない雰囲気です。



そして今は国立公園として保護されていて、手つかずの自然や、野生動物を沢山見ることができます。その中でも、この島の顔と言えば・・・



ロバです！私たちが知っているロバはグレーですよ。アジナラのロバは白が多い！



そのほかにもイノシシや、ハリネズミ！近づいても全く動じないです。

その日はアジナラについてのプレゼンテーションを拝見させていただきました。  
夏になると島には約8万人の観光客が来るが、冬は来ないので空っぽになってしまうこと。  
島に住む人がいないのでコミュニティが作られないこと。

そしてもっとも重大な問題は水不足であること。もともと、降水量が少ない上に、観光客が集まる8月の降水量は極めて少量であり、今は井戸水などを使用しているそう。しかし、その井戸水も、とりすぎると海水が混ざるようになってしまい、一度そうなるともう井戸は使えなくなってしまいます。

そこで今、考えられているのが淡水化装置をつくることです。しかし、自然を守る国立公園のどこにそういった装置を造るのか。コストの問題。また、その決定権は誰にあるのか。など様々な課題が立ちはだかります。

風力や太陽熱を利用する方法も挙げられていますが、同じような課題があります。

水不足に対応してこの島を守り有効に活用するには、どうすればいいのでしょうか。最近では子供たちが島を訪れて自然を体験するという、エコツーリズムという仕組みも取り入れられているそうです。自然と人が関わる場として、これからも守っていくべきだと感じました。

プレゼンはほとんどがイタリア語だったので、タニヤ先生が隣に座って英語に訳してくださり、わかりやすかったです。ありがとうございました。

そして宿に向かいます。二段ベットが5つおかれてある簡単な部屋でしたが、談話室にはサッカーのゲームがあったり、おいしいご飯があったり、素敵なところでした。

このサッカーゲーム、イタリアの人みんなすごく上手なんです！大人が歓喜の声をあげて白熱していました(笑)ほんと、楽しむのが上手だなーいつも思います。

